

令和3年度

施政方針

〈一部抜粋〉

3月1日の第1回九重町議会定例会において、日野康志町長が今年度の町政運営の基本的な考え方について施政方針演説を行いました。



1 防災・生活

災害から身を守るためには、住む地域の災害リスクを知り、防災気象情報を基に迅速かつ適切な避難が重要です。事前の備えや災害が発生する危険性が高まった時の早めの避難等、防災意識の向上に向け啓発と訓練等を実施します。

令和2年度より工事に着手した防災行政無線のデジタル化は、令和4年度までに整備を完了し、情報伝達手段の強化を図ります。

▶防災行政無線のデジタル化（12ページ）

高齢者を狙った特殊詐欺による被害が後を絶たないことから、特殊詐欺等防止機能付き電話機の購入補助を継続します。

証明書取得の利便性向上のため、引き続き飯田公民館で証明書の交付を行います。マイナンバーカードについては、窓口での申請補助に加え、昨年11月より実施している17時以降の時

間外窓口の開設を引き続き行い、日中来庁できない方への対応を図り取得推進に努めます。

令和2年7月豪雨による町道・河川の被災箇所について、緊急度を考慮するとともに出水期に向けた早期復旧に取り組みます。

町営簡易水道は、重原・尾本地区の配水施設の更新を行い地域飲料水の安定供給を図ります。また、地区水道は県・町の補助制度を活用して施設更新することで安定供給を図ります。

●防災行政無線デジタル化整備事業 （令和4年度まで順次整備）	2億848万円
●令和2年豪雨災害復旧事業	4億5,628万円
●消防車購入事業	2,827万円
●小規模給水施設整備事業	7,000万円
●釣住宅宅地造成事業	6,700万円
●地域づくり推進補助	1,700万円